

JSSR-DB 令和 8 年度診療報酬改定 K142-9 新設に伴う対応についてのご案内

日本脊椎脊髄病学会 脊椎内視鏡検討委員会 担当理事 山田 宏
委員長 中川 幸洋
日本脊椎脊髄病学会 データベース委員会 担当理事 藤田 順之
委員長 有馬 秀幸
副委員長 八木 満

改定の概要

2026 年 6 月 1 日施行されました令和 8 年度診療報酬改定により、K142-9「腰椎後方椎体固定術(内視鏡下)」が新設されました。これに伴い、JSSR データベースの登録内容を以下のとおり変更いたします。

年度途中での大幅なシステム改修による現場の混乱や、既存データとの整合性を考慮し、今年度は K142-9 に対応する術式小分類を追加するのみの段階的な対応といたします。

本対応は、令和 8 年度診療報酬改定への対応と、これまで蓄積された JSSR-DB データとの連続性・整合性を両立することを目的とした経過措置です。

皆様のご協力とご理解を賜りますようお願い申し上げます。ご不明な点は JSSR-DB 事務局 (secretariat@jssrdb.or.jp) までお問い合わせください。

登録方法について(2026 年度症例)

2026 年度症例(2026 年度手術日)では、K142-3「胸椎又は腰椎前方固定術(内視鏡下)」と K142-9「腰椎後方椎体固定術(内視鏡下)」の双方に、以下の術式小分類が選択肢として表示されます。

- ・内視鏡併用 MIS-TLIF
- ・MED システム使用椎体固定術
- ・FESS システム使用椎体固定術
- ・UBE/BESS システム使用椎体固定術

これらの術式について、2026 年 6 月 1 日以降の手術に関しましては、原則として新設の「K142-9 腰椎後方椎体固定術(内視鏡下)」でご登録ください。

なお、2026 年度症例に限り、K142-3 に登録された場合も同等のデータとして取り扱います。すでに K142-3 で登録済みの場合は、K142-9 への修正は不要です。

2027 年度以降の対応

2027 年度以降の運用につきましては、脊椎内視鏡検討委員会およびデータベース委員会での検討結果を踏まえ、改めてご案内いたします。

現時点では、内視鏡下後方椎体固定術の選択肢を K142-9 へ集約する方向で検討しております。

術式分類の変更一覧

▶ ～ 2026 年 5 月末日(これまで)

K142-3 胸椎又は腰椎前方固定術(内視鏡下)

- ・胸腔鏡下椎体固定術(VATS)

・腹腔鏡下椎体固定術 ・後腹膜鏡下椎体固定術 ・内視鏡併用 MIS-TLIF ・MED システム使用椎体固定術 ・FESS システム使用椎体固定術 ・UBE/BESS システム使用椎体固定術 ・その他(詳細:テキスト入力)	
▶ 2026 年 6 月 ～ 2027 年 3 月末日(経過措置)	
※ K142-3 に登録された場合も同等データとして扱います。K142-9 への登録を推奨しますが、修正は不要です。	
K142-3 胸椎又は腰椎前方固定術(内視鏡下) ・胸腔鏡下椎体固定術(VATS) ・腹腔鏡下椎体固定術 ・後腹膜鏡下椎体固定術 ・内視鏡併用 MIS-TLIF ※ ・MED システム使用椎体固定術 ※ ・FESS システム使用椎体固定術 ※ ・UBE/BESS システム使用椎体固定術 ※ ・その他(詳細:テキスト入力)	K142-9 腰椎後方椎体固定術(内視鏡下)【新設】 ・内視鏡併用 MIS-TLIF ・MED システム使用椎体固定術 ・FESS システム使用椎体固定術 ・UBE/BESS システム使用椎体固定術 ・その他(詳細:テキスト入力)